



舞鶴電腦工作室 店長
町田 秀和 さん

まいづる元気人 vol.82

地元でも「ものづくり」ができる場を

東舞鶴大門通りの商店街にある市内で唯一の模型店「舞鶴電腦工作室」。かつて舞鶴にあった模型店「オオノ模型店」「Mレーシング」から棚や模型、思いを受け継いだ。店舗奥は工作スペースを貸し出すほか、プログラミング教室などを行い、幅広く活動する。店長で元舞鶴高専准教授、ロボコン指導教員の町田さんに話を伺った。

舞鶴電腦工作室の開店

京都市で生まれ、中学まで城陽市で育った。小学生の頃からものづくりが好きだったという。叔父がアマチュア無線を教えてくれたこともあり「設計書どおりに作るのもいいけど、設計書から作ってみたい」と考えたそう。中学校の技術の先生から京都には舞鶴高専があることを聞き、母方の祖父が元舞鶴海兵団で「舞鶴はいいところや」と聞いていた影響もあり、進学を決めたという。高専で学び、大学卒業後、舞鶴高専の准教授として令和元年度まで勤め、昨年4月に舞鶴電腦工作室を開いた。「ここ数年、夜の市で高専ロボコンの展示ができていないので、復活させたいと商店街を訪ねると、休業中のオオノ模型店で定年後にやりたいと思っていた電子部品屋をやらなにかとの話を受け、開店を決断しました」と当時を振り返る。「舞鶴には海自や海保があり、護衛艦や巡視艇を整

備する人が船の模型を作ることも多く、老舗だったオオノ模型店やMレーシングのおかげで模型文化も根付いています」と話す。

プログラミングの魅力

店の奥の作業スペースではプログラミング教室も手掛ける。組み立てキットのはんだ付けから始め、ロボコンで使用するようなボールを蹴るロボットを作る。「高専でロボコンを教えていた時のノウハウが生きています。子ども達に光センサーでかざした切符の数をカウントしてくれる装置を作るプログラミング教室をしたことがあります。しかし、その仕組みだけでは手こたえがなかったらしく、装置を使う人が楽しくなるようにピッと音が出る機能を付け加える工夫をしてくれました。プログラミングは自由に拡張でき、発想を試すことができるんです」と魅力を語る。府北部はプログラミングの普及が遅れていると話し「プログラミング

「コロナ禍でも楽しみを

「コロナの影響で家にいる時間も増え、幼少期に楽しんでいた模型作りを再開する人も増えているそうだ。「部品や模型を買いに都市部へ行く人もいるかもしれませんが、ぜひ地元の店を使ってほしい」と話す町田さん。続けて「自分のことや地域の課題は自分で決まらないうえに、考えていて、そのキーワードはーだと思えます。プログラミングの知識は地元で生かせるようになります。コロナが落ち着けば高専生にアルバイトに来てもらい、子ども達にプログラミングや3Dプリンター、レーザー加工機などの技術を教えてほしいです。教えることで本人たちの勉強にもなりますから」と先も見据える。さて、その手から次はどんなものが生み出されるのだろうか。



妊娠中は体調管理や今後の子育ての準備など心配ことも多く、心が不安定になりやすい時期です。新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛が求められ、妊婦の皆さんは不安を抱え、孤立しがちになっているといわれています。妊婦やそのパートナー、家族が注意することや、妊娠・出産の支援を紹介します。

妊娠中も基本の感染予防対策が大事

現時点では、妊婦とそれ以外の人で新型コロナウイルスへの感染や重症化する割合は変わらないといわれています。ただし、肺炎を発生した場合は重症化する可能性があるといわれており、こまめな手洗いや3密(密閉・密集・密接)を避けるなど感染予防を徹底することが大切です。少しでも体調に不安がある場合は、かかりつけ産科医療機関や「きょうと新型コロナ医療相談センター」

これから出産を迎えるあなたに

「コロナストレス」を和らげよう

に相談しましょう。増えている産後うつ。感染拡大防止で、母親学級の中止や立ち合い出産・里帰り出産が制限される状況が続いています。これまで当たり前だった情報やサポートが得にくくなり、人と交流する機会も極端に減ったことで、母親にかかる負担は大きくなっています。

産後は、ホルモンバランスの変化や慣れない育児などのストレスから、産後うつという状態になることがあります。コロナ禍以前は約10割だった産後うつの発症割合が、最近の調査では倍以上に増えている恐れがあると報告されています。心身に大きな負担のかかる母親がさらにコロナ禍のストレスまで背負い込まないよう、パートナーや周囲のサポートが大切です。家事も育児も「手伝い」ではなく「自分のこと」という意識で取り組んでください。

や行政などの支援や企業などのサービスをとらわらずに利用してください。もし、不安や孤独を感じた場合は、できるだけ早く相談するように心掛けてください。妊娠期を健やかに過ごし、安心して育児ができるよう、さまざまな機関が応援しています。一緒にこのコロナ禍を乗り越えていきましょう。

【相談機関】

- ◆健康づくり課(☎65・0065)
- 助産師・保健師などが対応。助産師相談も実施(下表のとおり)。市公式動画サイトで「もうすぐパパママ教室」を配信しています(下記からアクセス可)。
- ◆きょうと子育てピアサポートセンター
- ◆妊娠出産・不妊ほっとコール(☎075・692・3449)
- ◆仕事と不妊治療の両立支援「コール」(☎075・692・3467)

- ◆発熱症状などがある時は
- きょうと新型コロナ医療相談センター(☎075・414・5487)

健康づくり課(☎65・0065)


〈共通〉場所は中総会館。申し込みはいずれも前日までに電話で。

健康教室と相談カレンダー

	対象	日時	内容	定員	料金
健やか育児相談	乳幼児の保護者	2月15日(月)9時30分～11時	◆育児の悩み相談 ◆歯・食事の相談 など	先着16人	無料
歯っぴースマイル教室(2歳児むし歯予防教室)	2歳6か月児	H30.2.12～7.15生まれ	◆歯の話 ◆歯科健診 ◆フッ素塗布	先着各20人	300円
	2歳児	H30.8.8～H31.1.4生まれ			
	2歳6か月児	H30.3.13～8.11生まれ			
	2歳児	H30.9.1～H31.2.2生まれ			
離乳食教室	5～6か月児の保護者	2月19日(金)13時30分～16時	◆離乳食の話と体験	先着10人	無料
助産師相談	妊産婦・新生児・乳児	2月10日(水)9時～11時	◆妊娠中の相談 ◆産後や子育ての相談	先着5人	無料

※新型コロナウイルス感染症の影響で中止になる場合があります。参加前に電話か市ホームページで開催状況を確認してください

まいづる
花図鑑
vol.170



各地の道端や畑など家の近くに生える越年草。秋に芽を出し、冬は地面に張り付くように葉を広げる。葉は互生し、線状のへら型で、葉も茎も柔らかな白毛に覆われる。春、高さ15～30cmの数本の柔らかい茎が立ち、先端に黄色い小さな頭花をたくさん付ける。名前の由来は、茎の白毛も頭花の冠毛もほうけ立っているため「ハハケル」から変化したなど諸説あり。春の七草の「オギョウ」は本種。農耕文化とともに大陸から渡ってきた史前帰化植物の一つとされる。【協力】瓜生勝朗/文化財保護審議会委員(植物分野)